

# 未来に向かって伸びる鶴嶺の子 鶴小だより 9月号

茅ヶ崎市立鶴嶺小学校  
校長 大久保仁晶  
令和元年9月2日発行

## 夏休みで成長した姿を

いつもより少し長めの夏休みが終わりました。健康に過ごせましたか？楽しく過ごせましたか？きちんと取り組むべきことを行えましたか？大きなけがなどの報告がなく、何よりと感じています。

この夏休みも鶴嶺小学校では、ラジオ体操と夏休み図書室の取り組みが行われました。参加してみましたか？ラジオ体操は、推進協の皆さんが中心となって、夏休みの最初と最後の1週間、朝7時から行われました。7月には子ども、保護者合わせて400人、8月は300人程度の参加が連日ありました。朝早い時間でしたが、多くの人数でラジオ体操を行うことで、一体感も感じることができました。何よりも楽しみなのは、スタンプを押してもらおうことのように、ラジオ体操第二が終わるころには、早くスタンプを押してほしいと、素早く列に並ぶ姿が見られました。「継続は力なり」と言われます。継続して取り組む力は、学校生活でも必要となる場面が多く出てきます。そして、「早寝早起き朝ごはん」を9月からも続けてほしいと思います。



スタンプは4・5か所で押しています



どんなカメレオンになるのか、みんな真剣です

同様に夏休みの最初と最後の3日間、午前中に夏休み図書室が開かれました。7月は50人、8月は30人程度の参加があり、この活動も定着してきていると感じました。子どもたちだけではなく、保護者の皆さんの姿も多く見られました。親子で、たっぷり本の世界に浸かることができたのではないかと思います。そして、10時から読書活動指導協力者である野地先生のお話会があり、毎回10冊近い本の紹介や読み聞かせ、手遊びうた、パネルシアターなどが行われ、ソフトな語り口に野地先生の世界にみな引き込まれていました。今年も、市立図書館の方を講師に迎え、ポップ（本の紹介）作りも行いました。図書室に来た際には、本選びの参考にしてもらえれば、と思います。まもなく「秋」。「読書の秋」とも言われます。本を読むことで、世界を広げてほしいと思います。

保護者の皆さん、夏休みの子どもたちの生活を見守っていただき、ありがとうございました。学校以外で学んだ夏休みの体験は、どれも大切な思い出であり、とても貴重なものです。夏休みは終わってしまいましたが、前期残り約1か月、その成長した姿を学校生活のいろいろな場面で見られることを楽しみにしています。子どもたちの活動を教職員一同、見守っていきます。どうぞよろしくお願いします。